

共同研究・受託研究・バーチャル研究室等課題名：物質循環型植物生産システム（アクアポニックス等）の研究開発
研究代表者（所属）：北宅善昭（大阪公大・研究推進機構）

発表タイトル：大規模人工光型植物工場への有機質肥料の導入と 安定生産の実現に向けた検討

○江口雅丈¹，中村謙治²，北宅善昭¹（発表者の左肩に○印をつけてください）

所属： 1 大阪公大・研究推進機構， 2 エスペックミック(株)

キーワード（5ワード程度）：有機質肥料，プロバイオポニックス，資源循環，物質生産，生理障害

要 旨（300文字程度）

環境負荷の軽減を含む持続可能な食料システムの構築に向け、化学肥料の使用量削減が求められている。また、肥料供給の不安定化への懸念や生産物の高付加価値化への期待から、化学肥料を用いた養液栽培が主流である人工光型植物工場においても、生産者の有機質肥料利用への興味が年々高まっている。本研究では、大規模人工光型植物工場での有機質肥料を利用した栽培・生産の可能性を検討することを目的とし、大規模人工光型植物工場を想定した環境下で有機質肥料を用いて栽培したリーフレタスの生育特性を調査した。本発表では、昨年度までの試験結果について報告する。